

ご存じですか？

環境にやさしいトラック用竹床材

グリーンボード竹床



1 環境に良い!

竹は数年で使用できるまで成長



強度のある根元部分を使用

竹材だから

2 軽くてキレイ!



アビトン材より約10%軽い!

3 強くて丈夫!



グリーンボード竹床



従来の木材

発売から9年! ウイング等バン車から平ボディ、小型車から大型車まで使用できます。



信和自動車工業株式会社
SHINWA AUTOMOTIVE INDUSTRY CO.,LTD.

http://www.shinwa-jikoh.co.jp

本社	大阪府大阪市北区堂島3-3-19	TEL: 06-6458-5661
配送センター	大阪府茨木市西太田町30-7	TEL: 0726-26-2736
福岡支店	福岡県糟屋郡新宮町大字上府馬場582	TEL: 092-963-5559
厚木支店	神奈川県厚木市松枝2-5-6	TEL: 0462-24-6525
栃木支店	栃木県佐野市大橋町3228-6	TEL: 0283-21-0781

お問い合わせは弊社、
またはお近くのディーラー様、
架装メーカー様へ。



信和自動車工業株式会社
島津 実 社長

富士運輸株式会社
松岡 弘晃 社長

特別対談

「トラックの床材を考える」

トラック荷台の床材として、最近注目を集めている「グリーンボード竹床」。従来のアビトン材・アカシア材より強くて丈夫な上に、素材自体が軽いという特徴も持っている。このグリーンボードを積極的に導入しているのが、奈良県に本社を置く富士運輸(松岡弘晃社長)だ。グリーンボードの導入を決断した同社の瀬野博之車輪部長と、同製品を開発した信和自動車工業の島津実社長の対談から、その魅力を探った。

強くて丈夫!

瀬野部長 当社が初めてグリーンボード竹床のトラックを使用したのは、平成22年のことでした。「竹床材を使ってみませんか」というディーラーさんの提案を受け、30台導入しました。当時、路線便を多く持っていた当社は、フォークリフトやハンドリフトが荷台の上に乗っても抜けることのない強い床材を求めていたのです。実際、1台も床が抜けず、「竹、いいじゃないか」と手ごたえを感じました。



瀬野 部長



島津 社長

島津社長 従来から床材に使用されてきたアカシアやアビトンに比べて竹が優れている点は、第一にその強度です。グリーンボード竹床は、強度のある根元部分を使用し、スカーフジョイント方式を取り入れることで強度を非常に高めています。

瀬野部長 強度に関しては、架装メーカーと、路線便をメインで行う事業者に声をかけ、3社で合同実験をしました。アカシア・アビトンの耐荷重量が800~900キロであったのに対し、竹材は1500キロ近い数値を叩きだし、非常に強い床材だということが証明されました。

環境によく、とにかく軽い!

島津社長 竹材は、従来の木材より約10%も軽く、環境にもいいことが大きな魅力です。森林伐採や環境破壊が問題となって久しいですが、20~50年をかけて成長・伐採される木材に対し、竹は約4年で成長するのです。

瀬野部長 実験の際に竹の軽さを知り、「強くて軽い」という竹の一石二鳥のメリットが分かりました。さらに、環境の面でもすぐれた一石三鳥の床材だということを痛感し、当社では強度実験以来ずっと、新しい車両を導入する際は全て、このグリーンボード竹床を指定しています。

「床材選び」のススメ!

瀬野部長 強くて軽く、環境にもいい竹床材に出会えたことは、当社にとって非常に大きなメリットでした。トラックを導入する際は、車両を選ぶだけでなく、車両の「床材」選びも非常に重要だということ強く実感しました。

島津社長 富士運輸様のように、竹床材を逆指名していただくことはまずありませんでした。実際に使用して、強度と環境にやさしいことをご理解いただいたうえでご指名をいただけるのは、開発者冥利に尽きます。